

# 北海道 公立高校の入試制度

【2026年度版】

## 選抜概要

●北海道の公立高校入試は推薦選抜と一般選抜の2回あります。

	出願期間	出願変更期間	入試日	合格発表日
推薦選抜	1/19(月)～22(木)	－	2/10(火)	2/18(水)まで
一般選抜	1/19(月)～22(木)	1/27(火)～2/2(月)	3/4(水)	3/17(火)
2次募集	3/23(月)～24(火)	－	一般選抜の結果を元に選抜	3/27(金)まで

●出願は、原則1校1学科に限ります。

ただし、2・3以上の学科がある学校を志望する場合は、同一課程の他の学科を第2・3志望とすることができます。

●合格者数が募集人員に満たない場合や、合格者の追加をしてもなお入学予定者数が募集人員に満たない際には、2次募集が行われます。この場合は、新たな学力検査等を実施せず一般選抜の結果を元に選抜を行うことになります。

ただし、学力検査成績証明書を欠く場合には、作文・面接等を行い、その結果を選抜のための資料とします。

●19の学区に分かれており、普通教育を主とする学科への出願は原則、居住区のみになります。それ以外の学科は道内全域で出願可能です。

## 推薦選抜

●中学校長からの推薦ではなく、受験生による自己推薦です。各高校のスクールポリシーを理解し、自らを「入学者の受入れに関する方針」に合うと考えている者、動機及び理由が明確である者、当該学科に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者が対象です。

●推薦による入学者の範囲は学校・学科ごとに決定されます。

- ・普通教育を主とする学科…募集人員の10～40%程度
- ・農業・水産に関する学科…募集人員の50～90%程度
- ・その他の学科…募集人員の30～50%程度

### ●選抜資料

①個人調査書・自己推薦書等

②面接

③学校採択による検査…英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文  
(学科ごとに上記のうちひとつまたは複数実施可能)

上記の資料を総合的に評価し合格者を選考します。

# 一般選抜①

●一般選抜は各学校・学科等の特色に配慮しつつ、能力・適性等を判定します。

## ●選抜資料

### ①学力検査…国語・数学・社会・理科・英語の5科

試験時間 各50分、配点100点

・学校、学科により特定の教科に傾斜配点を行うことがあります。

傾斜配点を行う教科は1～3教科、得点の倍率1.5～2倍まで  
(総得点を500点満点に換算)

### ②個人調査書…各教科学習の記録(評定)は、1～3年の9科(5段階評価)が対象

(1・2年9教科×2)+(3年9教科×3)=315点満点

### ③学校採択による検査…面接・実技など

# 一般選抜②

## ●選抜方法

合格者の選抜方法は以下のとおりです。

募集人員	内容
①70%程度	調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績を同等に取り扱う
②15%程度	調査書の内容等を重視(学力:評定の比率や重視する項目は各学校で決定)
③15%程度	学力検査の成績を重視(学力:評定の比率は各学校で決定)

選抜はまず、①評定と学力検査の成績で行われ、①で合格にならなかった受検者を対象に、②・③の選抜を行います。②・③では、学力検査点×0.63=315点満点として扱います。

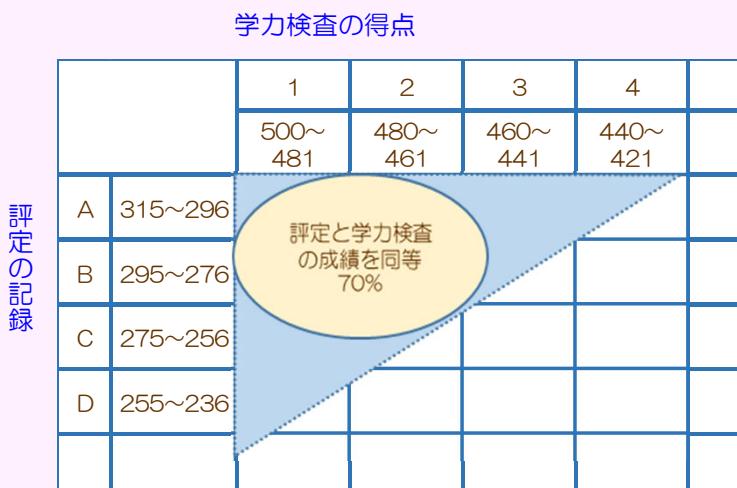
②・③による選抜の順序については、各学校長の判断で決定されます。

## ●評定と学力検査の成績の活用について

①「各教科の評定」の記録と学力検査の成績を同等に取り扱う場合、右図の相関表に当てはめて選抜します。

縦軸-評定の記録(315点満点)を20点ごとに区切りA～Mまでの段階

横軸-学力検査の成績(500点満点)を20点ごとに区切り1～25までの段階



※詳細は教育委員会の資料でご確認ください。